

3 学習評価の工夫改善

「目標に準拠した評価」の妥当性・信頼性を高めるための取組

- 1 評価に関する教師の意識改革を図り、市内小中義務教育学校が共通の評価認識をもてるようにする。
- 2 学習状況の見取りの充実を図り、児童生徒の学習状況を適切に評価できるようにする。
- 3 評価からの授業改善を図るなど、評価のための評価ではなく、指導に生かす評価をする。
- 4 効率の良い評価方法の研究により、日常的に無理なく生かせる評価を工夫する。
- 5 児童生徒や保護者等への情報提供を行い、開かれた評価活動の取組を展開する。

評価規準・評価方法等の継続的な見直しと改善

- 1 「指導と評価の計画」の活用と継続的な見直し
- 2 多面的・多角的な評価方法の工夫
- 3 児童生徒の姿としての具体的な学習状況の収集
- 4 観点別学習状況の観点ごとの総括や設定への総括方法の共通理解

研究・研修活動を通じた評価に関する教員の共通理解と力量の向上

- 1 校内研修による情報交換の充実
- 2 評価に関する定期的な研修会等の実施
- 3 評価活動の要素や手順についての共通理解
- 4 市教育研究部等による指導と評価の研修の実施

児童生徒や保護者への学習の評価についての情報提供

<児童生徒への情報提供>

- 1 単元導入時のオリエンテーションの充実
- 2 1単位時間毎のねらいの提示
- 3 学習計画表と自己評価カードの活用

<保護者等への情報提供>

- 1 学校・学年だよりを活用した情報提供の推進
- 2 学習評価に関するリーフレット（ひたちなか市版）による保護者等への説明
- 3 懇談会等による情報の収集

各校での自己点検・自己評価の実施と学校間及び教育関係機関との連携

- 1 定期的な評価活動の点検と改善
- 2 中・義務教育学校区における授業参観及び評価の情報交換の実施
- 3 評価に関するリーフレットを活用した校内研修の実施

指導と評価の一体化

「分かる授業の展開」
「児童生徒の資質や能力を伸ばす評価」